

昭和前期の出版統制(新聞・雑誌・書籍)研究に不可欠の重要資料!

●本書は『出版警察報』で取り扱われている毎月ごとの概況を、年単位でまとめたもので、各種統計をはじめ、出版警察の年次的な傾向を通覧できる基本文献の完全復刻版である。

●推薦―家永三郎・内川芳美・小田切秀雄・大久保利謙・奥平康弘・中村尚美・松浦総三・渡部徹

内務省警保局 編

復刻版

# 秘 出版警察概観

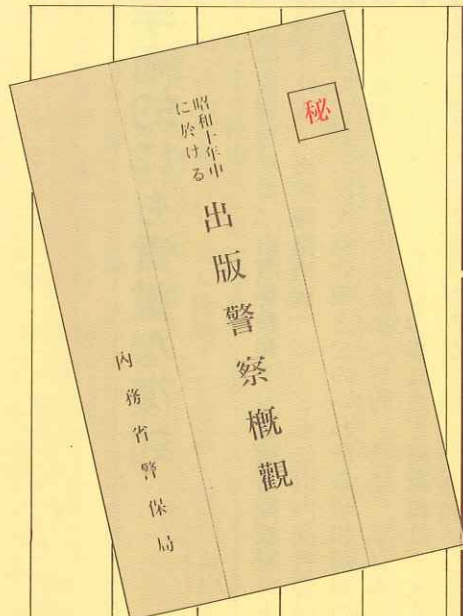
全3巻(昭和5年〜10年刊)・付録1

A5判・上製・総2、390頁

付録―出版警察関係資料解説・総目次

揃定価75、000円

不二出版





# 第一編 出版物の発行状況

## 第一章 概説

出版物の傾向を發行數より見れば、文化の發達と技術の進歩に伴ひ逐年増加の趨勢を辿り、特に最近數年間に於ける激増の傾向は注目に値する。之を數字を以て示せば、昭和九年中に於て出版法に依り發行せらるる出版物の納本總數は（同法第二條但書に依る雜誌をも含じ）一、一二六、七三三種に達し、之を前年に比較すれば、八三八種を増加し昭和元年に比較すれば二倍以上の増加となる。次に新聞紙法に依る新聞紙雜誌の發行數（納本數に非ずして在籍數云ふ）は昭和九年末現在に於て一一、九一五種に達し、之を前年同期と比較すれば五五種を増加し、昭和元年に比較すれば約一倍半の増加となる。

### 出版物發行數年表

（新聞紙雜誌は各年十一月末現在在籍數を示す）

年 別	類 別	出版法に依る出版物納本數	新聞紙法に依る新聞紙雜誌納本數
明治三五年		二二、九九〇	一、三二八
三六年		二四、二九六	一、四九九
三七年		二五、六〇二	一、五九〇

### 第一編 出版物の發行状況

# 出版警察関係資料集成

全8巻

戦前の出版統制に関する資料のうち『出版警察報』『出版警察資料』『出版警察概観』に未収録の資料を基に収集し、これによって、内務省警保局の出版警察関係の出版物のうち、今日確認されるもののほとんどを収録したことになる。出版統制の全容を把握できよう。

【収録文献一覧】

『出版警察概観』(昭3年12月)193頁	第1巻
『出版警察概観』(昭4年6月)190頁	
『出版警察概観』(昭5年1月)349頁	第2巻
『出版警察概観』(昭6年5月)223頁	
『最近出版物の傾向』(大9年1月)9月)22頁	
『最近出版物の傾向と取締状況』(大10年1月調)34頁	
『最近出版物の傾向と取締状況』(大11年5月調)94頁	
『大正一年出版物の傾向及び取締状況』(大12年3月調)98頁	第3巻
『震災後二於ケル出版物取締概況』(大12年12月)20頁	
『出版物の傾向及び取締状況概略』(大13年2月)32頁	
『大正一三年出版物の傾向及び取締状況』(大14年1月調)48頁	
『第五一議会資料ノ一』(大14年度ニ於ケル出版物ノ傾向)56頁	
『最近に於ける出版物の傾向』(大15年3月)76頁	
表題なし(大15年)90頁	
『出版物ノ傾向及其ノ取締状況』(昭2年2月)90頁	第4巻
『出版物ノ傾向及其ノ取締状況』(昭3年1月)152頁	
『出版物ノ傾向及其ノ取締状況』(昭3年7月)148頁	
『第1輯』出版物に現れたる国際赤色デー(昭4年4月)130頁	
『第2輯』無産階級運動に於ける合法と非合法(昭5年2月)115頁	第5巻
『第3輯』未見	
『第4輯』フアジズムの理論(昭7年8月)23頁	
『第5輯』出版物を通じて見たる日本革新論の現況(昭8年12月)614頁	第6巻
『第6輯』革命戦術史(昭10年9月)166頁	
『第7輯』出版物を通じて見たる五・一五事件(昭11年3月)443頁	第7巻
『新聞紙及出版物取締法規沿革集』(昭2年2月)98頁	
『出版警察例規集』(昭4年3月)308頁	第8巻
推薦Ⅱ家永三郎・内川芳美・奥平康弘・小田切秀雄・由井正臣・渡部 徹 内務省警保局 編(大正9年)昭和11年刊)・A5判・上製・総4,070頁	
■揃定価120,000円	

# 映画検閲時報

全40巻

本書は、内務省が映画検閲を体系化した一九二五年七月から刊行した『活動写真フィルム検閲時報』(一九二五年七月)一九三九年九月)と、一九三九年十月、映画法施行後の『映画検閲時報』(一九三九年十月)一九四四年二月)からなる復刻版で、戦前、国家権力による思想統制の一環として行なわれた、活動写真及び映画に関する検閲の実態を網羅した、唯一最大の資料である。

内容は、毎月「査閲フィルムノ部」「制限ノ部」「輸出フィルムノ部」「附録」からなり、「査閲フィルムノ部」では、洋画、邦画をとわず全作品のリストが紹介され、大正末から昭和前半に上映された映画の題名、巻数、製作者等が記録されている。「制限ノ部」では、フィルムの切除、説明台本の抹消等が理由をあげて記載されている。「輸出フィルムノ部」では、特に旧植民地に向けた「邦人慰安」のための映画が全て事前検閲を受けていることが判明する。本書は、戦前期の映画検閲の実態をしめす資料として、既刊の『出版警察報』『出版警察資料』『出版警察概観』『出版警察関係資料集成』等の資料と共に、国家権力による思想統制、特にマス・メディア統制の研究に不可欠であるばかりでなく、戦前の全映画作品の索引としても利用できるものである。

推薦Ⅱ家永三郎・内川芳美・佐藤忠男・篠田正浩・富士田元彦  
解題Ⅱ牧野 守  
内務省警保局 編(大正14年)昭和19年刊)  
A5判・上製・総23,200頁  
■揃定価520,000円

## 刊行概要・関係資料〈復刻版〉のご案内

# 秘 出版警察概観

全3巻

付録1

内務省警保局 編(昭和5年)10年刊)  
付録Ⅱ 出版警察関係資料 解説・総目次/A5判/上製/総2,390頁  
■揃定価75,000円(88年4月刊)

# 厳秘 出版警察報

全40巻

補巻1・付録1

内務省警保局 編(昭和3年)19年刊)  
付録Ⅱ 出版警察関係資料 解説・総目次/A5判/上製/総27,950頁  
■揃定価475,000円(82年4月配本完結)

# 秘 出版警察資料

全15巻

付録1

内務省警保局 編(昭和10年)15年刊)  
付録Ⅱ 出版警察関係資料 解説・総目次/A5判/上製/総8,538頁  
■揃定価147,000円(82年9月刊)

\*弊社は注文制です。お近くの書店へご注文ください。

# 不二出版

〒113東京都文京区向丘一丁目二  
TEL 〇三七八二一四四三三  
FAX 〇三七八二一四四六四  
振替 〇東京 六一九四〇八四